

長門医療圏地域医療構想調整会議（令和2年度第1回）議事概要

【日時】 令和3年1月18日（月）～1月28日（木）

【開催方法】 書面開催

【議事内容】

新たな病床機能の再編支援のため、国が創設した「病床機能再編支援補助金」を申請した医療機関についての審議を書面にて行った。

地域医療構想の実現に資するため、医療法人社団成蹊会岡田病院から急性期病床及び慢性期病床を削減する旨の説明があり、協議を行うとともに、それに伴う地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更を決定した。

○ 書面協議結果

医療法人社団成蹊会岡田病院から、医師、看護師をはじめとする医療スタッフが慢性的に不足している状況であり、少ない医療スタッフで良質な医療を提供するために病床の適正化を図るなど、病床の削減理由が示された。

病床削減等についての質疑応答がなされ、それに伴う2025プランの変更について承認された。

（主な意見・質問等）

○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大で病床や医療スタッフの不足が問題視されている。今は長門地域においてクラスターは発生していないが、今後の体制に不安はないのか。

⇒ 新型コロナウイルス感染症については、長門地域を含む北部ブロックでは、重点医療機関である長門総合病院を中心に対応している。

感染拡大等により、病床がひっ迫した場合等では、全県で対応を行うほか、臨時的・応急的な措置として定員超過入院等が認められている。